

市政最前線

検索しやすく内容の充実した ホームページ作りに努めます

予算化された新たな事業

事業の途中経過

特集のその後

本市では、市民のみなさんへの情報提供の手段として、「広報よっかいち」をはじめとする従来の紙面によるもののほか、市政情報番組を制作するなど、テレビ、ラジオでも積極的に市政情報の提供に努めてきました。また、平成九年四月には、市のホームページを立ち上げ、インターネットによる情報提供も行っています。「日本のブロードバンド（情報の伝送容量が大きく、通信速度の速い高速通信網）元年」と呼ばれる2000年を境に、インターネットの普及率は飛躍的に上がり、今や四〇％に迫る勢いとなっています。

本市のホームページへのアクセス件数も、平成十年には

特色あるコンテンツの紹介

・「広報よっかいち」のバツ

市では、今後、インターネットは広報紙やテレビ、ラジオに勝るとも劣らない重要な情報提供メディア（媒体）になると考え、ホームページのコンテンツ（内容）の充実に向けて努力をしています。

百四十八万件、同十一年百八十七万件、同十二年四百二十一万件と、普及率の上昇とともに年々増え続けています。また、今年三月からは、各地区市民センターや学校で、市民を対象に「EIT講習」を開催しており、多くの市民のみなさんが熱心にパソコンの基本操作やインターネットの活用方法を学んでいます。

クナンバーを収録しています。
・各種会議の公開日程、財政状況、監査結果、市長の交際費の執行状況、記者会見の報道資料を公開し、市政の透明性を高めるように努めています。
・「かんきょう四日市」では、身近なごみの分別方法から、本市の自然環境に関する情報、公害の歴史についても紹介しています。
・「組織と仕事」では、各課の事業内容を紹介するほか、最新情報が得られます。

今後の改善計画

・「目当ての件名・項目が探しにくい」との指摘を受け、現在の検索画面に「サイトマップ」画面を追加し、市民のみなさんが最も知りたい「暮らしの情報」と「市政情報」を素早く検索できるように改良を加えています（八月ごろから供用開始予定）。

・紙の減量、資料の電子化に合わせ、市の刊行物や統計資料を年次的にホームページに掲載し、紹介します。
(<http://www.city.yokkaichi.himeji.jp>)

問い合わせ 広報情報課

(☎54・8244)

出産後の母親にヘルパーを派遣する制度を検討してほしい

市の事業として実施するかは、ニーズを見極めて

ご意見

現在、子育て中で、仙台市では、出産後の母親にヘルパーを派遣する制度が始めるそうです。四日市市でも検討してもらえないでしょうか。
(大矢知地区・女性)

市から

核家族化や都市化の進展、女性の社会進出などによって、子育て中の母親を取り巻く環境が大きく変化しています。こうした中、本市においても、病児保育室の開設や子育て支援情報誌の発行など、子育て中の家庭を支援するための施

子育て支援情報誌「よっかいち子育てエンジョイブック」



産後のケアや家事援助を行う有償ボランティアグループも掲載

策に積極的に取り組んでいます。現在のところ、ご意見にあるような出産直後のヘルパー派遣は市では行っていないませんが、出産後における介護や家事援助については、市内でも

あなたの こえ 声 コエ 広聴のコーナー

ご意見・ご提案をお寄せください

あて先は
〒510-8601 市役所市民生活課 広聴係
TEL54-8147 FAX59-0284
四日市市公式ホームページ
<http://www.city.yokkaichi.mie.jp>
「市政への提案箱」へ
〔住所・名前を明記してください〕

今回は、今年度の市政モニターの方からのご意見やインターネット・ホームページ「市政への提案箱」にお寄せいただいたご意見の中から抜粋・要約したものを掲載させていただきます。

市民活動センターが 民間団体による管理運営になりました

平成十一年五月一日に、市

民活動の拠点としてオープンした市民活動センター。これまで、市が管理運営を行ってききましたが、このたび、民間の市民活動団体に管理運営を委託することになり、広く募集したところ、三つの団体から応募がありました。そこで、企画書についての審査とヒアリングを行った結果、七月一日から特定非営利活動法人「地域づくり考房みなと」に管理運営をお任せすることになりました。

りました。

代表の井上さんは「この地域の市民活動がさらに盛んになるように、生活者を起点とした開かれたセンターを目指します。NPOの特性を發揮し、公営ではできないことにもどんどんチャレンジしていきたいと思えますので、ご意見・ご提案をお待ちしています。」と語ってくれました。

「地域づくり考房みなと」の市民活動経験を生かした運営により、同センターが今まで以上に身近な市民活動の拠点としてますます発展することが期待されます。

同センターは、市民活動を行っている人だけでなく、NPOや市民活動などについて知りたい人など、だれでも自由に利用できる施設で、次のようなことができます。

●資料展示・掲示コーナーやインターネットを通じた市

民活動団体が主催のイベントや団体についての情報収集

●市民活動に関する本の閲覧（貸し出しも行っていきます）

●パソコン、印刷機、コピー機、紙折機、貸ロッカーなどを使った団体活動の作業

●リーススペースを使った、団体内の打ち合わせや事務作業

●市民活動に関するさまざまな問い合わせや相談

そのほか、市民活動に携わる人がたくさん出入りする場所ですので、情報交換やネットワークづくりも可能です。

みなさんも、ぜひ一度お越しください。

《市民活動センター》

住所 蔵町四・十七 電話

50・0201 FAX 50

・0203 Eメールアド

レス center@npo.city.yo

kkaichi.nie.jp 開館時間

午前9時～午後9時 休館日

毎月第2月曜日（祝・休日の場合

場合は翌日）と年末年始

有償ボランティアグループやシルバー人材センターなどが行っています。必要な方には紹介もしていますのでご相談ください。また保健センターでは、希望者を対象に、助産婦による妊娠婦新生児訪問指導を行っています。

出産後の体調不良によって家事や育児が一時的に困難な母親や、出生後間もない多胎

桑名市での航空機事故を踏まえ四日市市も対応を

事故再発防止と訓練試験空域の見直しを申し入れました

ご意見

五月十九日、隣の桑名市で訓練中のヘリコプターとセスナが衝突し、墜落しました。もし墜落場所が、学校や病院、人口密集地だったと考えると恐ろしくなります。

四日市市は桑名市より人口密集地も多く、市民の安全確保の観点から、桑名市と共同歩調を取ることを含めた対応と事故の状況把握が必要と考えます。

（市政モニター・男性）

市から

今回の航空機事故は桑名市で起きたことですが、この中部近畿訓練試験空域には本上空も含まれています。このこ

児を養育する家庭への家事や育児の援助の必要性は認識しています。このことから、ヘルパー派遣については、今すぐ実施ということではなく、市民のみなさんのニーズも見極める中で検討も必要かと考えていますので、ご理解をお願いします。

児童福祉課（市役所3階
54・8173）

とから、本市にとっても決して他人事ではなく、多くの市民のみなさんからも不安の聲が上がっています。

このため、本市としても桑名市などと調整を図りながら対応を検討してきました。去る五月二十三日には、三重郡四町と連携し、国土交通大臣に対して事故再発防止と訓練試験空域の見直しについて申し入れを行ったところです。

現在、国土交通省において、事故の再発防止について空域の見直しを含めて検討中とのことですので、ご理解をお願いします。

防災対策課（市役所8階
54・8119）